



三国中学校だより

【校訓】誠心 自主 創造

— 主体的に学び、協働してよりよい人生と

社会を創る生徒の育成— 合言葉:進取果敢



小郡市立三国中学校

第 11 号

令和8年7月17日発行

文責 校長 米倉佳美

1学期終了 ～有意義な夏休みを、そして飛躍の2学期に～

梅雨が明け、気温が一気に上がり、セミの声が力強く響く季節となりました。今週はとくに気温が高く、7月17日(金)の1学期終業式はオンライン配信にて、特別活動教室(配信スタジオ)と各教室をつないで実施しました。各教室では、広報委員の生徒のみなさんが配信のための準備を行ってくれました。広報委員のみなさんの活躍に感謝します。



いよいよ明日から夏休みが始まります。夏休みは、自分の時間を自分でつくることのできる大変貴重な期間です。安全に気をつけながら、これまで挑戦できなかったことに取り組んだり、心と体をゆっくり整えたり、家族との時間を大切にしたりしながら、どうか充実した夏を過ごしてください。

終業式では、私から次のようなことを伝えました。

4月からの毎日、みなさんが学習や行事、部活動等、さまざまな場面で挑戦する姿を、私は折に触れて見てきました。また、先生たちも近くで見守り応援してきました。その一つひとつが確かな前進だったと思います。みなさんは、この1学期を振り返って、自分の成長をどのように感じているのでしょうか。

さて、始業式や入学式の日、**日常の学びの中から「問い」を見出し、自分から調べたり考えたりすることを進取果敢に楽しんでほしい**という話をしましたが覚えていますか？

この夏、世界ではサッカーのワールドカップが開催され、日本代表チームが熱い戦いを繰り広げました。決勝トーナメントのブラジル戦では、世界の強豪相手に見事な先制ゴールを決め、日本が本気のブラジルを相手に堂々と渡り合い、大きな感動を与えてくれました。

そこで、私は、**こんな素晴らしい日本代表チームを率いてくれた森保一監督とは、いったいどんな人なのだろうと、その人柄について知りたくなりました。**調べていくうちに、森保監督が、試合に敗れた選手たちに語った言葉が紹介されていました。

「とにかくこれまでやってきた、うまくなりた、強くなりた、成功したい、勝ちたいという思いを自分に落とし込んで、自分がいい選手になるために続けること。七転び八起きじゃないけど、とにかく続けること、成長することを忘れないでほしい」と。

森保監督の高校時代は全国大会の出場経験もなく、名が知れた選手というわけではありませんでした。しかし、選手たちに語りかけた、この「**続けること**」という言葉には、**森保監督自身がこれまで歩んできた生き方が、そのまま重なっているように感じました。**目の前の努力を積み重ね、地道に、誠実に、自分の道を歩み続けてきた人。その姿勢が、選手たちの心を動かし、日本代表という大きなチームをまとめる力になっているのだと感じました。

森保監督は、最後に選手たちとSEAMOさんの「Continue」という曲を歌ったそうです。曲のタイトルが示すように、**大切なのは「続けること」。**勉強でも、部活動でも、人間関係でも、続けるからこそ見えてくる景色があります。

思うようにいかず悔しい日や、どうせ自分なんてと思ってしまう日もあるでしょう。しかし、SEAMOさんの曲が伝えているように、**あきらめるか、あきらめないかを決めるのは、いつだって自分自身です。**できないからやらないのではなく、できないからこそ挑戦する価値があるのです。その一歩を踏み出した人だけが、昨日までとは違う自分に出会うことができるのだと思います。

2学期、みなさんがまた一段と成長した姿で元気に登校してくれることを、心から楽しみにしています。

「救命救急講習会」を開催しました！ 〈2年生 保健体育科〉

7月13日（月）・15日（水）の2日間、2年生全クラスの保健体育の授業で、救命講習を受講しました。久留米広域消防本部 三井出張所・三国出張所より延べ4名の方を講師としてお迎えし、**万一の場面で命を守る**ために、講話と実技講習を受けました。

最初にDVD視聴を通して、**命をつなぐことの大切さ**を学習したあと、救助を必要としている人に対する意識の確認、心肺蘇生法の手順など、一つひとつを丁寧に指導いただきました。胸骨圧迫では「強く・速く・絶え間なく」を心掛け、特に「絶え間なく」を意識した実技も行いました。胸骨圧迫を途切れないようにするために、交代する人が横に待機した状態で速やかに入れ替わる方法も実際に行いました。

今回の学びは、これからの日常の中でも、今日得た知識と心構えを忘れず、**いざという時に「動ける自分」**でありたいと強く感じる時間となりました。



〈保護者のみなさまへ〉 地域懇談会へのご参加ありがとうございました！

7月13日（月）19時から、地域懇談会を開催しました。今年度は、のぞみが丘小校区はのぞみがおか生楽館で、三国小校区はふれあい館三国で開催しました。保護者のみなさまをはじめ、日頃から三国中の教育活動にご尽力いただいている地域のみなさまにお集まりいただきました。

のぞみが丘小校区は、「防犯について～地域の方たちに顔を覚えてもらうには～」というテーマで意見交流を行いました。

「のぞみ小では、一斉挨拶デーの取組をしているよ。」

「地域のイベントに参加している子は覚えるので来てくれたらいいな。」

「町の清掃とかに子どもと一緒に参加すると、〇〇さん家の△△さんだねと知ることができるのもいいな。」

など、具体的な場面が挙げられました。

三国小校区は、小郡警察署から道路交通法改正に関する講話をしていただき、それを踏まえて意見交流を行いました。

「スピードの出しすぎは危ないからしないと子どもに伝えていく！」

「車が出てくるだろう、人が出てくるだろう運転を！」

「朝、三沢駅前、車両は通れない。通るなら自転車から降りるように！」

など、実生活にすぐにでも生かすことができる対策が挙げられました。



ご参加していただいたみなさま、お忙しい中、誠にありがとうございました。また、PTA地域代表委員のみなさまには、事前の打ち合わせや当日の運営等、大変お世話をおかけしました。地域での懇談会の開催にご尽力いただいたことに心より感謝申し上げます。